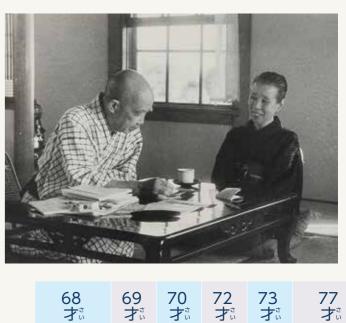
浪平、妻の也笑と最後の旅行



943年(昭和18年)

栃木工場の起工式が行われ、

あいさつをする

942年 (昭和17年)

栃木工場をつくる計画が進められる当時の栃木市長と栃木商工会議所会頭の申し出を受け、

日で

立製作所

944年(昭和19年)

栃木工場が完成

946年 (昭和21年)

戦後の復こう事業を開始

55 才。

929年 (昭和4年)

日立製作所の取締役社長になる

9 4 1

1945年(昭和16年~昭和20年) 太平洋戦争・

多くの工場が戦火により焼失

1924年 (大正13年)

(大正) 12年)

関東大しんさい・京浜地区のふっこうにじん力

正式に株式会社日立製作所と

国産第一号の大がた電気機関車を完成させる



浪 <sup>な</sup> みへい
大学生時代だいがくせい じだい
(明治32年秋撮影
影い



46 才ů 50 才。 45 才ご



































































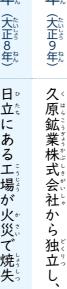






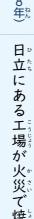




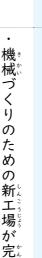












始まりの年となる・純国産の5馬力モーター3台を完成・機械づくりのための新工場が完成 3台を完成させ、 この年が日立製作

所は

## 1 9 0 8 年 (明治 41 年) 鉱山の仕事のあい間に電気機械のしゅう理を始める

34 才也

◀ 渡れが合戦場にいたころにかいた作品







広島水力電気(今の中国電力)

に入れる

30才。

26

9

00年

(明治33年)

明治

31 才也

32 才。

906年(明治3年)

金属)日立鉱山に入社の原房之助にさそわれ、

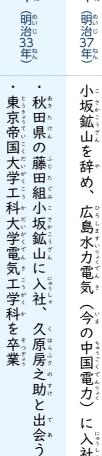
東京電燈を辞めて久原鉱業所

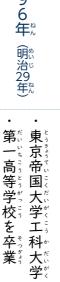
(今の」

X









(今の東京大学工学部)

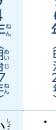
電気工学科に入学



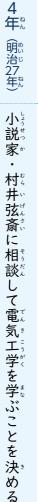
22

才は



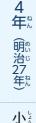












19 才如



第一高等中学校(のちの第一高等学校)

に入りがく

17 才。







浪平9才(右)と、兄の儀平(左)



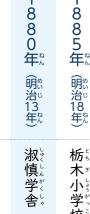
下都賀寒川郡立第一高等小学校東京英語学校に入学

(今の栃木中央小学校)を卒業

14 才。



栃木小学校に転校



(今の合戦場小学校)

に入学がく

6 才な

11

才は

874年(明治7年)

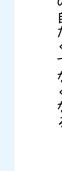
の

栃木県栃木市都賀町合戦場)で月15日、小平家の次男として、

で生まれる

栃木県下都賀郡家中村合戦場とちぎけんしもつがぐんいえなかむらかつせんば

0 才で



947年(昭和22年) 日立製作所社長辞にん

951年(昭和26年)

日立製作所相談役となる10月5日、東京都文京区

0 to	- 5	
٠,	足上	
\ h	7113	
Ļ٣	京紫都	
< <	7117	
•	4.3	
	×λ	
くくしく · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	マンス 京ぶんきょう	
•	不 う	
	区〈	
•	(人)	
	$\sim$	
	区への	
	4	
	自じ	
	$\overline{L}$	
	T:-	
	`;	
	たくで	
	,,,	
	7	
	<i>†</i> >	
	0	
	なくなる	
	`	
	<i>t.</i> >	
	' ሌ	
	7	
	<b>ි</b>	



17